

出雲平野の川や水路の 生きものたち



出雲市

平成26年3月

ちゅういしましょう！

- ・水辺へ一人で行くのはきけんです。大人といっしょに行きましょう。
- ・川では採ってはいけない生きものや、使ってはいけない道具があります。決まりを守りましょう。
- ・ブラックバスやウシガエルなどの特定外来生物(とくていがいらいせいぶつ)を生きたまま他の場所へもっていくことや飼うことは、法律で禁止されています。
- ・ペットのカメやザリガニ、金魚などの生きものや水草を川や水路に放すのはやめましょう。

とくていがいらいせいぶつ
生きたまま移動はできません！（特定外来生物）



オオクチバス（ブラックバス）



ブルーギル



ウシガエル

ようちゅうい がいらいせいぶつ
最後まで責任をもって飼いましょう！（要注意外来生物※）



ミシシippアカミミガメ（ミドリガメ）



アメリカザリガニ

※要注意外来生物は、特定外来生物に変更されることがあります

もくじ

出雲平野の川①	4
出雲平野の川②	5
ササバモ	6
水草の外来種問題①	7
コカナダモ	8
水草の外来種問題②	9
オオカナダモ	10
カワニナ	11
クロベンケイガニ	12
カワムツ	13
オイカワ	14
ウグイ	15
タモロコ	16
コイ	17
ギンブナ	18
タイリクバラタナゴ	19
カネヒラ	20
ミナミアカヒレタビラ	21
サンインコガタスジシマドジョウ	22
シマドジョウ	23
ミナミメダカ	24
ボラ	25
オオクチバス	26
ブルーギル	27
ドンコ	28
カワヨシノボリ	29
ウキゴリ	30
ウシガエル	31

出雲平野の川①

出雲平野にはたくさんの川があります。山持川と高浜川、古内藤川は堀川の支流、新内藤川と午頭川は神戸川の支流で大社湾まで流れます。十間川は神西湖に流れます。



山持川(西林木町)



高浜川(大社町遙堪)



古内藤川(大社町修理免)



新内藤川(大塚町)



午頭川(西園町)



十間川(神西沖町)

出雲平野の川②

出雲平野の川の中で、平田地域や斐川地域の川は宍道湖に流れます。平田船川や湯谷川、五右衛門川(十四間川)、万蔵寺川などの川があります。



湯谷川(平田町)



北船川(園町)



五右衛門川(斐川町直江)



五右衛門川(斐川町美南)



万蔵寺川(斐川町黒目)



七日市川(斐川町学頭)

ササバモ



- 分類(ぶんるい):オモダカ目ヒルムシロ科
- 学名(がくめい):Potamogeton wrightii
- 大きさ:葉の長さは6-15cmほど。
- 特徴(とくちょう):葉は七夕でつかう笹(ささ)のような形をしています。葉の先が細くなってとがっています。水の中にある葉の方が水面にあるはよりも長くなっています。
- 生育場所(せいいくばしょ):川や水路のような水が流れている場所によく生えています。
- 分布(ぶんぷ):日本では寒いところにはあまり生えていません。出雲市では、流れのある川や水路で見られます。

水草の外来種問題①

水槽の水草が野外で増える



ハゴロモモ

ホテアオイ

外来種は、もともとその場所にはなかった生きものが人によってもちこまれ、すみついてしまったものです。

外来種の水草の中には、今までその川に生きていた水草よりも増えすぎてしまい、もともといた植物はすめなくなると、外来種の水草ばかりになってしまうことがあります。

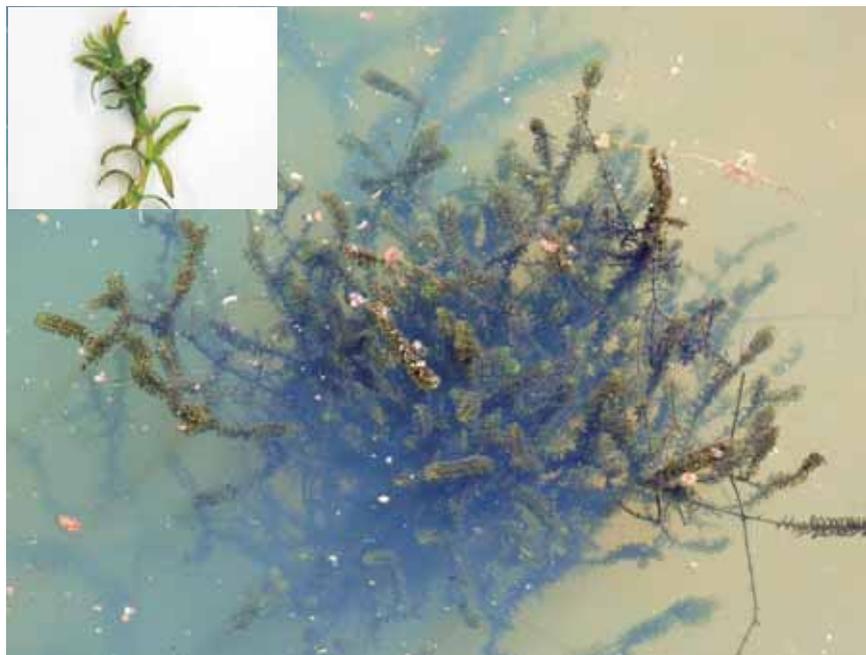
外来種の中で、ハゴロモモは水槽での観賞用として、ホテアオイは観賞用や水をきれいにする植物としてたくさん利用されたりしました。

しかし、人が管理しないと、増えすぎてしまうため、これらの外来種は水草の中でも特に問題になっています。

育てている水草を川などに放さないようにしましょう。

がいらいしゅ
外来種

コカナダモ



- 分類(ぶんるい):オモダカ目トチカガミ科
- 学名(がくめい):*Elodea nuttallii*
- 大きさ:植物全体で50cmほど。
- 特徴(とくちょう):一年中、ため池や川に生えています。葉はひとつの節から3枚出ているので、オオカナダモと見分けることができます。日本にはおしべのある花をつけるものだけが入っているため、めしべのある花は日本ではみられません。
- 生育場所(せいいくばしょ):ため池や水路、川に生えます。汚れた水だけでなく、きれいな水のところにも生えます。
- 分布(ぶんぷ):オオカナダモと同じように、日本にはもともといなかった外来種です。出雲市でも水路、川でよくみられます。

水草の外来種問題②

水路をうめつくす浮草の正体



ヒシと一緒に生えるアゾラ 水面をかくすほど増えたアゾラ

水路の中にびっしりと生えている赤い水草は、アゾラ[オオアカウキクサ属の一種]です。このアゾラは、アイガモ農法のエサや肥料として使われてきました。

日本にもともといるオオアカウキクサは、農薬などで少なくなり、島根県の準絶滅危惧種(じゅんぜつめつきぐしゅ)になっています。このオオアカウキクサとアゾラとの中間の形をした水草があらわれ、これらの雑種(ざっしゅ)かもしれないといわれています。こうなってしまうと、絶滅から守らなければならないオオアカウキクサなのか、取りのぞかなければならないアゾラなのかわからなくなってしまう。

似ている植物どうしには、こんな問題もおこっています。

がいらいしゅ
外来種

オオカナダモ



- 分類(ぶんるい):オモダカ目トチカガミ科
- 学名(がくめい):*Egeria densa*
- 大きさ:植物全体で1mほど。
- 特徴(とくちょう):一年中ため池や川に生えています。ふつう4枚の葉がひとつの節から出ています。おしべのある花をつけるものだけが日本に入っているため、タネではなく、茎が切れたものが生長して増えていきます。
- 生育場所(せいいくばしょ):ため池や水路、川に生えます。生えている場所ではこの植物のみが多く生えています。
- 分布(ぶんぷ):日本にはもともといなかった外来種です。出雲市でもため池や水路でもよくみられます。

カワニナ



- 分類(ぶんるい):腹足綱カワニナ科
- 学名(がくめい):*Semisulcospira libertina*
- 大きさ:殻(から)の長さは1-3cmほど。
- 特徴(とくちょう):細長い巻き貝です。殻の色は黒いものが多いです。よく似ているチリメンカワニナは、殻の表面がごつごつした形をしています。殻のとがった部分が無いものもあります。ゲンジボタルの幼虫のエサとして知られています。
- 生息場所(せいそくばしょ):川の上流から下流まで広くすんでいます。石やコンクリートなどの硬いものに生えるコケ(ソウ類の仲間)を食べます。流れのない場所では少ないです。
- 分布(ぶんぷ):日本と周辺の国に広くすんでいます。

クロベンケイガニ



- 分類(ぶんるい):エビ目ベンケイガニ科
- 学名(がくめい):*Chiromantes dehaani*
- 大きさ:甲羅(こうら)の幅は1-3.5cmほど。
- 特徴(とくちょう):ハサミがむらさき色をしています。よく似ているベンケイガニやアカテガニは、ハサミの色が赤色やオレンジ色をしています。脚には毛がたくさん生えています。主に夕方から夜に活動します。
- 生息場所(せいそくばしょ):海岸や河口、海が近い場所にある土手や田んぼなどにすんでいます。特に宍道湖周辺では多く見られます。昼間は地面に穴を掘り、中にかくれています。
- 分布(ぶんぷ):北海道を除く日本。国外では東アジアの沿岸。

カワムツ



●分類(ぶんるい):コイ目コイ科

●学名(がくめい):*Candidia temminckii*

●大きさ:出雲平野の川では全長5-10cmほどの個体が多い。

●特徴(とくちょう):細長い形の魚です。体の横には縦方向の黒い帯のような模様(もよう)があります。背中の背びれの前には黒い模様があります。この模様は、川の水面近くを泳いでいる時にも目立ちます。オスは繁殖期(はんしょくぎ)になると、体の下側が赤くなります。

●生息場所(せいそくばしょ):島根県の川でもっともよくみられる魚の1つです。出雲平野では、流れのある川でたくさん泳いでいる姿が見られます。

●分布(ぶんぷ):本州西部、四国、九州。国外では朝鮮半島。

オイカワ



- 分類(ぶんるい):コイ目コイ科
- 学名(がくめい):*Opsariichthys platypus*
- 大きさ:出雲平野の川では全長5-12cmほどの個体が多い。
- 特徴(とくちょう):細長い形の魚です。体の横にはカワムツのような黒い帯はなく、銀色をしています。オスは繁殖期(はんしょくぎ)になると体の横が青くなります。
- 生息場所(せいそくばしょ):島根県の川でよくみられる魚ですが、上流にはいません。出雲平野の川ではもっとも多い魚の1つです。
- 分布(ぶんぷ):本州西部、四国、九州。国外では東アジア。もともと東日本にはいなかった魚ですが、現在では東日本にも生息しています。アユの放流に混じて広まったと言われています。

ウグイ



- 分類(ぶんるい):コイ目コイ科
- 学名(がくめい):*Tribolodon hakonensis*
- 大きさ:一般に全長30cmほどになる。
- 特徴(とくちょう):細長い形の魚です。オイカワやカワムツのような大きな尻びれ(腹側の後ろにあるひれ)はありません。オスは繁殖期(はんしょくぎ)になると体の横の下側にオレンジ色の帯が現れます。
- 生息場所(せいそくばしょ):出雲平野の周辺では、斐伊川や神戸川、宍道湖などに生息します。出雲平野の小さな川や水路では少ない魚です。
- 分布(ぶんぷ):沖縄をのぞいた日本全国に分布します。

夕モロコ



- 分類(ぶんるい):コイ目コイ科
- 学名(がくめい):*Gnathopogon elongatus elongatus*
- 大きさ:出雲平野の川では、全長3-12cmほどの個体が多いです。
- 特徴(とくちょう):細長い形の魚です。体の横には尾びれまで続く黒い帯があります。口にコイのようなひげがあります。食用にされるホンモロコに比べ、体が少し太い形をしています。
- 生息場所(せいそくばしょ):水の流れがゆるやかな場所に生息します。出雲平野の川や水路では多い魚の1つです。
- 分布(ぶんぷ):本州西部と四国に分布しますが、その他の地域にも広がっています。

コイ



- 分類(ぶんるい):コイ目コイ科
- 学名(がくめい):*Cyprinus carpio*
- 大きさ:一般に全長60cmほどまで成長します。宍道湖には1 mを超える大物がいます。
- 特徴(とくちょう):フナに似ていますが、口に4本のひげがあります。雑食性でタニシなどの貝も好んで食べます。
- 生息場所(せいそくばしょ):流れのゆるい川や水路、流れのない池や湖に生息します。汽水(きすい)の宍道湖にも生息し、「宍道湖七珍」の1つです。
- 分布(ぶんぷ):古くから人が利用してきた魚で、世界各地に放流されています。日本にも広く分布しています。

ギンブナ



- 分類(ぶんるい):コイ目コイ科
- 学名(がくめい):*Carassius* sp.
- 大きさ:一般に全長20-30cmまで成長しますが、出雲平野の川では全長3-12cmほどの個体が多いです。
- 特徴(とくちょう):コイに似ていますが、より小さく、口にひげはありません。体はやや暗い色をしていて、光が当たると銀色の光沢がみえます。メスが多く、オスがほとんどいないふしぎな魚です。
- 生息場所(せいそくばしょ):流れのゆるい川や水路、流れのない池や湖に生息します。
- 分布(ぶんぷ):日本全国。国外では東アジアに広く分布しています。アユの放流に混じって広まったと言われています。

がいらいしゅ
外来種

タイリクバラタナゴ



- 分類(ぶんるい):コイ目コイ科
- 学名(がくめい):*Rhodeus ocellatus ocellatus*
- 大きさ:出雲平野の川では全長3-5cmほどの個体が多いです。
- 特徴(とくちょう):成魚(せいぎょ)は、体が平たく、背中が高い形をしています。オスは繁殖期になると、体が赤色や青色を帯びます。稚魚(ちぎょ)は小さなフナのような体型をしていますが、背びれに黒く丸い模様があります。この模様は成長するとやがて消えます。
- 生息場所(せいそくばしょ):流れの緩い川や池などに生息します。産卵をする二枚貝がない場所にはすんでいません。
- 分布(ぶんぷ):外来種でもともと日本にいない魚です。東アジアに分布します。

カネヒラ



- 分類(ぶんるい):コイ目コイ科
- 学名(がくめい):*Acheilognathus rhombeus*
- 大きさ:全長12-15cmほど。
- 特徴(とくちょう):成魚(せいぎょ)は、体が平たく、背中が高い形をしています。オスは繁殖期になると、体がピンク色や青色を帯びます。出雲平野のタナゴの仲間ではもっとも大きい種です。イシガイなどの二枚貝に卵を産みます。
- 生息場所(せいそくばしょ):流れのゆるい川や水路、池などに生息します。
- 分布(ぶんぷ):本州西部と九州。出雲平野のカネヒラは、ほかの地域から移入した可能性があります。

ミナミアカヒレタビラ



- 分類(ぶんるい):コイ目コイ科
- 学名(がくめい):*Acheilognathus tabira jordani*
- 大きさ:全長4-7cm。
- 特徴(とくちょう):成魚(せいぎょ)は、タイリクバラタナゴやカネヒラに比べて細い形をしています。オスは繁殖期になると、腹びれと尻びれの外側がうすいピンク色になります。
- 生息場所(せいそくばしょ):出雲平野にも生息するとされています。島根県の条例(じょうれい)※で保護されていて、許可なく採集することはできません。
- 分布(ぶんぷ):本州西部の日本海側に分布します。

※「島根県希少野生動植物の保護に関する条例」に基づく指定希少野生動植物です。

サンインコガタスジシマドジョウ



- 分類(ぶんるい):コイ目ドジョウ科
- 学名(がくめい):*Cobitis minamorii saninensis*
- 大きさ:全長5-6cm。
- 特徴(とくちょう):とても細長い魚です。背中に丸い形の模様が並んでいて、横には黒い細い線のような模様があります。口には6本のヒゲがあります。
- 生息場所(せいそくばしょ):底に砂の多い川や水路のゆるい流れに生息しますが、やや泥の多い場所でも見つかります。
- 分布(ぶんぷ):山陰地方の限られた地域に生息します。出雲平野は分布の西側になります。

シマドジョウ



- 分類(ぶんるい):コイ目ドジョウ科
- 学名(がくめい):*Cobitis biwae*
- 大きさ:全長5-12cm。
- 特徴(とくちょう):とても細長い魚です。背中に丸い形の模様がはなれて並んでいて、横には黒い線と丸い模様があります。口には6本のヒゲがあります。
- 生息場所(せいそくばしょ):川底に砂があるような場所に生息します。サンインコガタスジシマドジョウが平野など下流に多いのに対して、シマドジョウは中流に生息します。
- 分布(ぶんぷ):本州、四国、九州に分布します。

ミナミメダカ



- 分類(ぶんるい):ダツ目メダカ科
- 学名(がくめい):*Oryzias latipes*
- 大きさ:全長2-4cmほど。
- 特徴(とくちょう):小型の魚で、体型はやや細長い。口が上向きで、目が大きく、尻びれや尾びれの幅が広い。日本のメダカは1種とされてきましたが、キタノメダカとミナミメダカの2種に分けられました。島根県にはミナミメダカが生息します。
- 生息場所(せいそくばしょ):池や小川、水路など水の流れがないか、ゆるやかな場所に生息します。
- 分布(ぶんぷ):日本からアジアに広く分布します。兵庫県以北の日本海側にはキタノメダカが分布しています。

ボラ



- 分類(ぶんるい):ボラ目ボラ科
- 学名(がくめい):*Mugil cephalus cephalus*
- 大きさ:大きくなると50cmほどまで成長するが、出雲平野の川では10-15cmほどの個体が確認されています。
- 特徴(とくちょう):背中側からみると頭の幅が広い。目が大きく、頭の前の方にある。体は横からみると背中側は暗く、腹側は白いです。また、胸びれのつけ根が青黒くなっています。
- 生息場所(せいそくばしょ):海では沿岸に多く、川の下流から河口に生息します。宍道湖にも生息しています。ボラが多くすむ場所では、水面をよくはねる様子が見られます。
- 分布(ぶんぷ):世界中の熱帯から温帯地域に分布します。

がいらいしゅ
外来種

オオクチバス



- 分類(ぶんるい):スズキ目サンフィッシュ科
- 学名(がくめい):*Micropterus salmoides*
- 大きさ:全長30-50cmほどまで成長します。
- 特徴(とくちょう):体は平たく、口が大きな魚です。背びれにはトゲがたくさんあります。体型はスズキに似ています。
- 生息場所(せいそくばしょ):ダムやため池、流れのゆるい川や水路に生息します。出雲平野の川では少なく、たくさんいる場所は見つかっていません。
- 分布(ぶんぷ):もともと日本にはいなかった外来種です。原産地は北アメリカです。

※オオクチバスは特定外来生物です。許可なく生きたまま移動することや飼育することは、外来生物法で禁止されています。

がいらいしゅ
外来種

ブルーギル



- 分類(ぶんるい):スズキ目サンフィッシュ科
- 学名(がくめい):*Lepomis macrochirus macrochirus*
- 大きさ:全長20cmほどまで成長しますが、出雲平野の河川では3-8cmほどの個体が多いです。
- 特徴(とくちょう):体は平たく、背が高い魚です。背びれにはトゲがたくさんあります。
- 生息場所(せいそくばしょ):ダムや池、流れのゆるい川や水路に生息します。
- 分布(ぶんぷ):もともと日本にはいなかった外来種です。原産地は北アメリカです。

※ブルーギルは特定外来生物です。許可なく生きたまま移動することや飼育することは、外来生物法で禁止されています。

ドンコ



- 分類(ぶんるい):スズキ目ドンコ科
- 学名(がくめい):*Odontobutis obscura*
- 大きさ:全長25cmほどまで成長しますが、出雲平野の川では2-12 cmの個体が多いです。
- 特徴(とくちょう):ハゼに近い仲間の魚ですが、上からみると太く短い形をしています。胸びれが大きく、丸い形をしています。背中の模様は石の色に似ています。とても大きな口で、小動物を丸のみします。
- 生息場所(せいそくばしょ):川や池に生息し、海にはいません。島根県の川ではもっともよく見られる魚の1つです。
- 分布(ぶんぷ):本州、四国、九州に分布します。

カワヨシノボリ



- 分類(ぶんるい):スズキ目ハゼ科
- 学名(がくめい):*Rhinogobius flumineus*
- 大きさ:全長4-6cmほど。
- 特徴(とくちょう):川にすむヨシノボリの仲間は、互いによく似ています。オスは繁殖期になると、尻びれなどが赤みを帯びます。
- 生息場所(せいそくばしょ):ヨシノボリの仲間は海と川を回遊する種が多いですが、カワヨシノボリは一生川の中にすみます。川の中でも主に上流から中流に生息します。出雲平野では、カワヨシノボリが好むような環境が少なく、山寄りの川で見つかります。
- 分布(ぶんぷ):本州、九州。

ウキゴリ



- 分類(ぶんるい):スズキ目ハゼ科
- 学名(がくめい):*Gymnogobius urotaenia*
- 大きさ:全長13cmほどまで成長します。
- 特徴(とくちょう):第1背びれ(頭に近い方の背びれ)の後ろには黒い模様があります。ハゼの仲間ですが、底にはりつくことは少なく、水の中を浮いているように泳ぎます。よく似た種にスミウキゴリがありますが、出雲平野では少ないです。
- 生息場所(せいそくばしょ):川の中流から上流に生息します。特に宍道湖やそこに流れる川や水路に多くすんでいます。
- 分布(ぶんぷ):日本と周辺の国にすんでいます。

がいらいしゅ
外来種

ウシガエル



- 分類(ぶんるい):カエル目アカガエル科
- 学名(がくめい):*Rana catesbeiana*
- 大きさ:オタマジャクシ(幼生)の全長は15cmほどです。カエルになると体長20cmほどまで成長します。
- 特徴(とくちょう):オタマジャクシはとても大きい。カエルは緑色や茶色で背中に黒い模様があります。
- 生息場所(せいそくばしょ):ため池や水路に生息します。たくさんのオタマジャクシが水辺を泳いでいることがあります。
- 分布(ぶんぷ):もともと日本にはいなかった外来種です。原産地は北アメリカです。

※ウシガエルは特定外来生物です。許可なく生きたまま移動することや飼育することは、外来生物法で禁止されています。



新内藤川

出雲平野の川や水路の生きものたち

発行 出雲市 文化環境部 環境政策課
〒693-8530 出雲市今市町70
TEL 21-6987/FAX 21-6597

協力 ホシザキグリーン財団(調査受託)

印刷所 株式会社報光社